

奥出雲町の平成20年度予算が決まりました

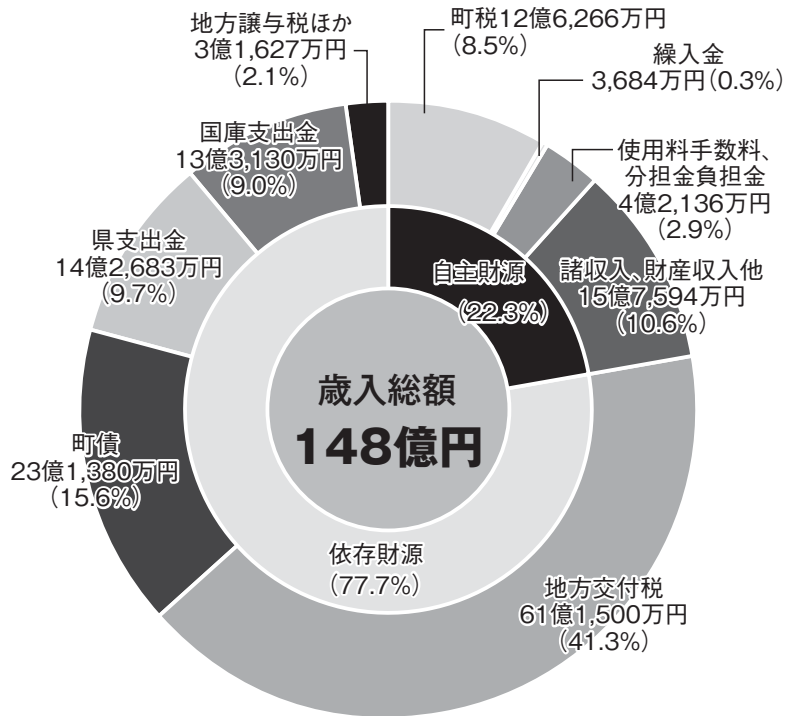
総額 222億6,947万円

一般会計 148億円

一般会計の予算規模は148億円で、昨年度当初予算と比較して3.0%減少しています。

歳入

町が主体的に収入している自主財源は32億9,680万円(22.3%)であり、このうち町税は12億6,266万円で、町民税、固定資産税の増収見込により3.4%増となっています。また、地方交付税や国、県支出金などの依存財源は115億320万円(77.7%)で、有利な補助事業や起債を導入し財政運営を行います。



歳出

投資的経費には災害復旧費の5,666万円を含め、32億4,743万円を計上し、町の基盤整備推進のため、町民要望の高い事業を優先的に実施することとしています。

公債費や人件費などの義務的経費は52億3,545万円(全体の35.4%)となっています。特に人件費については、一般職員退職者不補充による職員定数の適正化の推進、給与カットの継続実施などにより、特別職、嘱託職員を含めた人件費総額を12億5,154万円に抑制しています。扶助費については児童福祉費、生活保護費の増等により9,126万円増加しています。また、公債費については7,888万円増加していますが、引き続き繰上償還を実施し、将来負担の軽減に努めていきます。

補助費や物件費などの消費的経費は前年度比2億1,441万円減の29億9,460万円(20.2%)を計上しています。

特別会計

14の特別会計の総額は74億6,947万円で、奥出雲病院の運営をはじめ国保事業や下水道事業など町民の暮らしに密着した事業を行います。

平成20年度各特別会計の当初予算

特別会計名	当初予算額
国民健康保険事業特別会計	16億220万円
後期高齢者医療保険事業特別会計	3億4,085万円
老人保健事業特別会計	2億3,145万円
介護老人保健施設事業特別会計	3億6,140万円
介護サービス事業特別会計	2億9,924万円
訪問看護ステーション事業特別会計	1,852万円
簡易水道事業特別会計	9億4,741万円
公共下水道事業特別会計	4億434万円
農業集落排水事業特別会計	6億3,153万円
合併処理浄化槽事業特別会計	1億5,498万円
仁多発電事業特別会計	1,238万円
三井野原スキーリフト事業特別会計	1,514万円
国営農地開発事業特別会計	1億1,549万円
奥出雲病院事業特別会計	23億3,454万円